

平成25年度松阪市図書館改革推進事業民間手法導入可能性調査
業務委託プロポーザル評価のポイント

業者名 三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社 名古屋

評価項目 (配点)	評価の視点	評価のポイント
業務遂行体制 (5点)	①業務が可能な実績を有し、体制が整っているか。 ②担当者は、十分かつ有効な経歴や能力を有しているか。 ③作業工程に無理がなく、作業手順は効率的なものであるか。	社会教育施設等のPFI導入可能性調査業務の経験が多く、東京、大阪の事業本部とのネットワークを活用して、多くの知見を集められることに期待ができる。担当者については、実績と先進事例研究等から、本業務に対する意欲が十分に感じられた。
業務の理解度 (20点)	①松阪図書館及び周辺施設の状況や利用度を把握し、本市の地域特性を踏まえた検討ができるか。	周辺施設を含めた包括マネジメントによる経費削減と地域の資産価値の向上を取組み方針としていることと、本市の意向に沿った柔軟な対応が可能な点が評価された。全域サービスに対する考え方も今後のサービス方針として期待できた。
	②図書館業務について、先進事例等を把握し、知識・知見をもって提案できるか。	本市の住民の声を反映させた図書館づくりを十分に理解し、ボトムアップ型の小布施町を事例にあげながら、住民ニーズの吸い上げや設計・運営等への反映、民間ノウハウの活用などの手法検討が提案されたことが評価された。
業務の 取組方針 (5点)	①本市と十分な意思疎通が図られる体制が確保されているか。 ②調整が必要となった場合に、迅速かつ柔軟に対応する考えがあるか。 ③取組方針に妥当性があり、具体的な内容となっているか。	本市の基本計画(案)を基にした、図書館及び周辺施設に対する取組方針がまとめられており、委託後の業務に対する熱意が感じられる。PFI事業に対する新しい試み等に対しても、全国の事例等を参考にしながら検討していきたいとの前向きな回答があり、柔軟な対応が期待できる。
調査・検討等の 考え方 (10点)	①事業スキームに妥当性、実現性があるか。 ②行政リスク負担の考え方に妥当性があるか。 ③全体経費についての考え方に妥当性と実現性があるか。	いくつかの事業スキームと課題があげられており、幅広い考え方のもとで検討されることが期待できる。また、周辺施設も含めた包括マネジメントにより経費削減を考えるなど、VFMの試算においても、いくつかの経費削減案のもとで行われることが評価された。
	④独自の提案の内容は、事業成果を高めるために有効なものであるか。	VFM試算における感度分析の実施の提案があり、行政側にとって、資金調達方法や事業費の変動によって試算がどう変わるのかが、理解しやすいものとなっている。